



## (2) ふるさと軸（2つの自然軸）

- ・境川と引地川を中心とした水と緑に恵まれた自然豊かで、市民生活にうるおいを与える2つの「ふるさと軸」では、軸上にある4つの森（泉の森、深見歴史の森、久田の森、上和田野鳥の森）をはじめとし、その環境を確保しながら、良好な低層住宅地とともに次世代へ引き継いでいきます。

## ■「3つのまち」の方向

### (1) 北のまち

- ・北のまちでは、中央林間駅周辺地域を中心に、利便性や安全性を高めるとともに、現在の良好な住環境を守りながら、都市機能と緑が調和した多世代が交流するまちづくりを進めます。

### (2) 中央のまち

- ・中央のまちでは、大和駅周辺地域に集積する商業・業務機能や、教育及び文化芸術施設、プロムナード※、泉の森などを生かしながら、活力とにぎわいがあふれ、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを進めます。

### (3) 南のまち

- ・南のまちでは、高座渋谷駅周辺の都市機能と緑豊かで歴史を感じられる住環境を生かしながら、ゆとりある暮らしが継続的に営まれるまちづくりを進めます。

※内山地区・・・大和市の北部、中央林間駅近くに位置する面積約43haの市街化調整区です。

※中央森林地区・・・大和市のほぼ中央、大和駅と鶴間駅間に位置する面積約44haの市街化調整区域です。

※プロムナード・・・相鉄線地下化により生み出された、大和駅を中心として東西に整備された歩行者専用道です。

## 5 財政運営の方向

少子高齢化の進展が全国的な課題となる中、大和市においては、計画期間中に15～64歳までの生産年齢人口が減少に転じることが予測されます。そのため、大幅な税収の増加は見込めない一方、65歳以上の高齢者人口の増加などに伴い、社会保障関連経費が増加するものと考えられます。また、公共施設の老朽化が進んでおり、維持・改修するための経費も増加が見込まれています。

このような状況を踏まえ、今後も引き続き、積極的な国・県補助金の活用や受益者負担の適正化などにより財源の確保に努めつつ、限られた財源を的確に配分し、将来にわたって持続可能な財政運営を推進していきます。

## 6 将来都市像実現に向けた目標

「みんながつながる健幸都市やまと」の実現には、個人と個人だけではなく、個人と地域、地域と地域など、様々なつながりを育て続けていくことが重要です。

このため、私たち一人ひとりが元気に暮らして、つながることのできる状態であるとともに、必要なときに支え合いながら暮らしていることや、地域や市民の活動が活発に行われていること、将来を担うこどもが地域で健やかに育っていることを通して、つながりをより強くしていく必要があります。

さらには、にぎわいがあり、安全・安心で、快適に過ごせる都市をつくることで、私たちがつながりやすいまちとしていく必要もあります。

大和市は、こうした考えをもとに、将来都市像の実現に寄与する7つの目標を設定します。

### 【将来都市像実現に向けた目標1 いつまでもみんなが元気でいられるまち】

- ・人生100年時代を生涯にわたって健康に生き生きと暮らせるよう、市民の間での健康づくりをはじめ、病気の予防、心のケア、安定した地域の医療の提供などを推進します。
- ・また、豊かな心を育むとともに、心身の健康にも良い影響を及ぼすスポーツや生涯学習、文化芸術について、その活動が一層広がるよう振興を図ります。

### 【将来都市像実現に向けた目標2 みんなが支え合うまち】

- ・介護や支援が必要な高齢の方、障がいがある方など、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせるよう、多様な福祉サービスの提供や、市民同士が共に支え合う仕組みづくり、公的支援の運用などを進めます。

### 【将来都市像実現に向けた目標3 こどもが将来に希望をもって生きるまち】

- ・こどもや若者が健やかに成長していけるよう、こどもを望んだ時から子育て期にわたる切れ目ない支援を行うとともに、地域や社会全体で子育てしていく環境を整えます。
- ・将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちが、自らの手で未来を切り拓いていけるよう、主体性や創造力などを育むとともに、多様性への理解や学校、地域でのつながりなどの醸成を図ります。

### 【将来都市像実現に向けた目標4 地域の絆が深く、多様性を認め合うまち】

- ・様々な地域課題に対応していくため、自治会をはじめとした地域コミュニティの活性化や各種団体等による市民活動の振興を図ります。
- ・一人ひとりの個性と人権が尊重される社会をつくっていくため、人権や男女共同参画、多文化共生などの取り組みを展開します。

### 【将来都市像実現に向けた目標5 にぎわいを生み出すまち】

- ・活力ある地域経済を実現するため、商工業の振興や企業誘致、創業支援を行うとともに、生き生きと働ける環境づくりを進めます。

- ・都市農業の振興を図るため、地場農産物の地産地消を促進するとともに、市民が農に触れ合う機会の拡大等に取り組みます。
- ・大和市に興味をもって訪れる人を増やすため、魅力的なイベントの開催やフィルムコミッションの展開に取り組みます。

#### 【将来都市像実現に向けた目標 6 安心して暮らせる安全なまち】

- ・大規模地震等の自然災害から市民の生命と財産を守るため、行政が市民を守る「公助」を強化するとともに、市民が自らを守る「自助」及び地域等で協力して助け合う「共助」の取り組みへの支援を行います。
- ・誰もが安心して日々の生活を送れるよう、市民や関係機関等と連携を図りながら、犯罪発生を抑止、安全な消費生活の確保、交通安全対策の推進、消防力の強化に取り組みます。
- ・厚木基地について、航空機騒音や事故への不安など、基地に起因する様々な課題があり、市内における騒音被害の状況や厚木基地の運用に伴う市民生活への影響等を注視しながら、これらの解決について粘り強く取り組みます。

#### 【将来都市像の実現に向けた目標 7 人と環境に優しい都市空間が広がるまち】

- ・地球温暖化をはじめとした環境問題に対応できる持続可能なまちを実現するため、市民、事業者と一体となり、脱炭素社会や循環型社会の形成に向け取り組むとともに、人と自然が共生できる環境を整えます。
- ・市民が快適に過ごせるよう、道路や下水道、公園などのインフラ施設の計画的な維持更新を行いながら、各地域の特性を生かした街づくりを進めます。
- ・誰もが気軽に移動できるよう、ユニバーサルデザインに配慮し、市民ニーズの変化等も踏まえた交通施策に取り組みます。

## 7 行政経営の方針

検討中